

目次

第1編 別府市の紹介		頁
1	はじめに	1~2
2	別府市の概況	
	(1) 位置と地勢 (2) 大分県内の市町村図	3
	(3) 沿革 (4) 別府市観光動態・外国人観光客数	4
	(5) 日本一の別府温泉	5
	(6) 人口の推移	6
	(7) 産業別就業人口 (8) 地目別土地 (9) 都市計画区域・市街化区域等	7
第2編 議会		
1	組織	
	(1) 議員 (2) 議長・副議長・監査委員 (3) 会派別議員数 (4) 議員歴 (5) 事務局	8
2	議員報酬・費用弁償等	
	(1) 議員報酬 (2) 議員期末手当 (3) 費用弁償 (4) 行政視察費 (5) 政務活動費	9
3	議会活動	
	(1) 本会議の開催日数 (2) 議案等審議状況 (3) 議案審議結果	10~11
	(4) 別府市議会基本条例 (5) 委員会等の概要 (6) 議会広報等	12~13
4	議会運営	
	(1) 会議日程 (2) 議案質疑・一般質問 (3) 請願・陳情	14
5	議会費	15
第3編 財政		
1	令和6年度当初予算	
	(1) 全会計の予算規模	16
2	一般会計歳入・歳出予算	
	(1) 一般会計歳入予算 (2) 一般会計歳出予算	17~18
3	決算状況等	
	(1) 普通会計決算状況	19
	(2) 人件費・扶助費・公債費(経常収支比率)の年度別推移	20
第4編 行政		
1	職員	
	(1) 職員数 (2) 職員給与の状況 (3) 部局別職員数の推移	21~22
2	組織	
	(1) 市長事務部局 (2) 市長事務部局以外	23~24

第1編 別府市の紹介

1 はじめに

▼ 市民憲章 (昭和43年1月1日制定)

- ◎ 美しい町をつくりましょう
- ◎ 温泉を大切にしましょう
- ◎ お客さまをあたたかく迎えましょう

▼ 市花 (昭和48年制定)

▽ オオムラサキ (ツツジ)

常緑低木。市内の街路や公園に多く植栽され、4月下旬から5月中旬の開花時期には赤紫色の大きな花を咲かせる。



▼ 市木 (昭和57年制定)

▽ キンモクセイ (庭園緑化木)

中国原産。秋には黄金色の小花を咲かせ、芳香がある。別府の土壤に適しており、庭園などの緑化用として選定された。



▽ クスノキ (公共緑化木)

樹形雄大で風格があり、樹齢も長く、別府を象徴する木として最もふさわしい。公園などの緑化用として選定された。



▼ 名誉市民 (昭和57年3月31日条例制定)

市勢の発展及び広く社会文化の興隆に貢献し、その功績が著しく、郷土の誇りとして市民から敬愛を受ける者に対し、その功績をたたえるもので議会の同意を得て推挙する。

荒金 啓治 氏 (故人)

- ・ 明治30年5月2日生
- ・ 元別府市長
- ・ 昭和60年5月2日推挙

稲尾 和久 氏 (故人)

- ・ 昭和12年6月10日生
- ・ 元プロ野球選手
- ・ 平成5年7月30日推挙

佐藤 文生 氏 (故人)

- ・ 大正8年7月21日生
- ・ 元衆議院議員
- ・ 平成10年7月20日推挙

▼ 姉妹都市

▽ 熱海市（静岡県） 昭和41年8月5日調印

別府市・熱海市は観光・経済・文化の交流により相互の理解と親善を深め地域社会の発展に寄与することを目的として、姉妹都市の盟約を結ぶ。



▽ ^{モッポ}木浦市（大韓民国 西南部） 昭和59年10月1日調印

別府市と木浦市は行政、教育、文化、産業、経済等各分野に亘って交流を図り、相互の理解と信頼を深めるため、相協力し今後の日韓両国の友好と親善の促進に努めることを目的として姉妹都市の盟約を締結する。

平成22年2月に更なる友好交流の推進を図るため「友好交流を強化するための協議書」の調印を行う。



▽ ボーモント市（アメリカ合衆国 テキサス州） 昭和60年5月20日調印

亜熱帯気候で年間をとおして温暖なため、秋と冬はセーター1枚あれば十分である。観光客、地元の人々もバードウォッチング、魚釣りなど様々なアウトドアアクティビティーが楽しめる。

別府市とボーモント市は両市のみならず広くアメリカ合衆国と日本国との友好関係を深め相互理解並びに厚き友情のため姉妹都市の盟約を結ぶ。



▽ ロトルア市（ニュージーランド 北島） 昭和62年7月10日調印

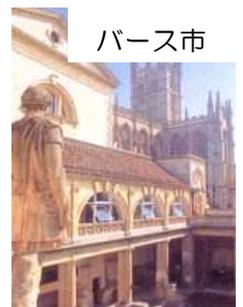
温泉観光都市で、毎年国内外から130万人の観光客がロトルア市を訪れ、平均滞在日数は2.2日。その約3分の1が海外からの観光客である。別府市とロトルア市は、両市及び両国間の友好と親善を推進するため姉妹都市の盟約を結ぶ。



▽ バース市（イングランド 西部） 平成6年10月31日調印

湧出温度46℃の3箇所の泉源があり、湧出量は1日100万リットル。イングランドでは唯一の温泉地で、この温泉資源がバース市を世界的に有名にした。

別府市とバース市は、両市及び両国間の友好と協力そして調和を推進するため、姉妹都市の盟約を結ぶ。



▼ 友好都市

▽ ^{エンタイ}烟台市（中華人民共和国 山東省） 昭和60年7月26日調印

快適な気候帯に属す避暑地であり、中国書法の至宝である文峰山魏碑石刻、秦始皇東巡遺跡、長山列島など、名勝旧跡のある全国観光である。

別府市と烟台市は日中国交共同声明と日中平和友好条約の精神にのっとり、両市の友誼と友好協力促進のため、友好都市の盟約を結ぶ。



▼ 国際交流都市

▽ ^{チェジュ}済州市（大韓民国） 平成15年1月17日調印

韓国の中でも寒暖の差がもっとも少ない穏やかな島である。

観光、経済、学術、文化、芸術、スポーツなど多様な分野での親善・友好・協力を推進し、日韓両国の発展に努めることを目的として、国際交流都市の盟約を結ぶ。



2 別府市の概況

(1) 位置と地勢

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に接する大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、南は野生のニホンザルで有名な高崎山をへだてて県都大分市と隣接、北は県北・国東テクノポリス地域としてハイテク関連企業が進出する国東半島の市や町と接し、西は阿蘇国立公園に属する由布岳、鶴見岳の連山を中心に南北に半円形に連なる鐘状火山(トロイデ)に囲まれ、その裾野がなだらかに波静かな別府湾に続く扇状地である。

市内には、古くから「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、2,800を数える源泉から湧出する温泉は、毎分約10万3千リットルにも及び、医療、浴用等々、市民生活はもとより観光、産業面にも幅広く利用されている。

市役所所在地	面積 (km ²)	位置		広ぼう	
		東 経	北 緯	東西	南北
別府市上野口町 1番15号	125.34	131度29分28秒	33度17分05秒	13km	14km

(2) 大分県内の市町村図



(3) 沿革

別府温泉について記されている最古のものは「豊後風土記」で、現在の鉄輪地区に古代から地獄が存在し、豊富な天与の温泉に恵まれていた。今日の別府の地名は、荘園時代に新開地の開墾、領有に際して必要とされた免符である「別符」が「別府」と書かれるようになり、これが地名となったと言われている。



明治44年当時の別府駅

明治時代に入ると、交通機関の発達と交通路の整備により大きく発展し、明治39年には人口12,308人の別府町が誕生、全国的にも湯治場として知られるようになった。大正時代には、観光地としての性格を加え、大正13年4月1日に、人口36,276人の別府市が誕生した。

幸いにして第2次大戦の戦災をまぬがれ、昭和25年制定の「別府国際観光温泉文化都市建設法」の指定を受けるなど、着実に発展を続けている。平成12年には、公私協力方式により学生の半数が留学生である「立命館アジア太平洋大学」が開学し、既存の大学、姉妹都市、友好都市と学術、国際交流を積極的に図っている。現在では市政のさらなる飛躍・発展のため、地域資源である、別府の歴史・伝統・文化・産業を磨き、別府の誇りを創生する取組みを推進している。

(4) 別府市観光動態（2023年）

令和6年10月発表

	観光客総数(A)	宿泊観光客数(B)	日帰観光客数(A-B)
人数	6,800,812人	2,387,431人	4,413,381人

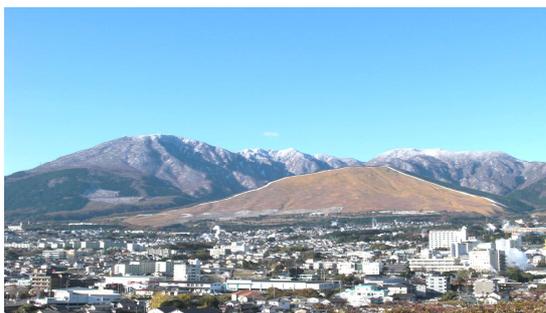
(注意)平成22年度から観光庁の「共通基準」に準じ統計の調査方法を大幅に変更したため、平成21年以前の観光動態(観光客数や宿泊客数など)との比較はできません。

※外国人観光客

2023年の外国人観光客数は281,564人。

外国人観光客数 国別ベスト5 単位:人、%

順位	国名	観光客数	構成比
1	韓国	99,795	35.4
2	香港	63,790	22.7
3	台湾	27,830	9.9
4	タイ	19,263	6.8
5	アメリカ	17,029	6.1



別府の風光明媚な山と海（左：扇山、右：別府湾）

(5) 日本一の別府温泉

別府市には、別府八湯という8ヶ所の温泉地があり、これらをまとめて別府温泉郷と称している。別府八湯とは、別府・浜脇・観海寺・堀田・明礬・鉄輪・柴石・亀川の各温泉地を指し、それぞれが特徴を持っている。

別府湾一帯から、九重・阿蘇を経て島原半島を含む広大な地域は、地盤が沈む地溝帯で、この地溝を中心に活性化した火山活動は地熱温泉活動をもたらした。この火山活動により、別府の地形には二つの大きな断層が生じている。この断層と鶴見岳やガラン岳の火山活動が影響しあい、地下のマグマからの熱が噴出した高温高压の「熱水だまり」が地下数千メートルの所にできる。地下に浸透した雨水は、マグマの熱で温められた「熱水だまり」にふれ、再び地表に噴き出す途中、さまざまな成分を取り込み、温泉水となる。

ア 源泉数 (令和5年3月31日現在 大分県ホームページ)

	温泉地名	源泉数
1	大分県 (別府市)	5,090 (2,839)
2	鹿児島県	2,738
3	北海道	2,229
4	静岡県	2,209
5	熊本県	1,334



「別府の湯けむり」
 ・NHK「21世紀に残したい日本の風景」で全国第2位
 ・「かおり風景百選」に選ばれた

イ 湧出量 (令和5年3月31日現在 大分県ホームページ)

順位	温泉地名	湧出量(ℓ/分)
1	大分県 (別府市)	295,708 (102,671) [全国第1位]
2	北海道	196,262
3	鹿児島県	175,145
4	青森県	138,559
5	熊本県	129,962



別府市営温泉 不老泉

ウ 温泉数

(令和6年4月1日現在)



市営柴石温泉

温泉区分	箇所数
市有市営	16
市有区営	67
区有区営	13
計	96

※休止中を除く

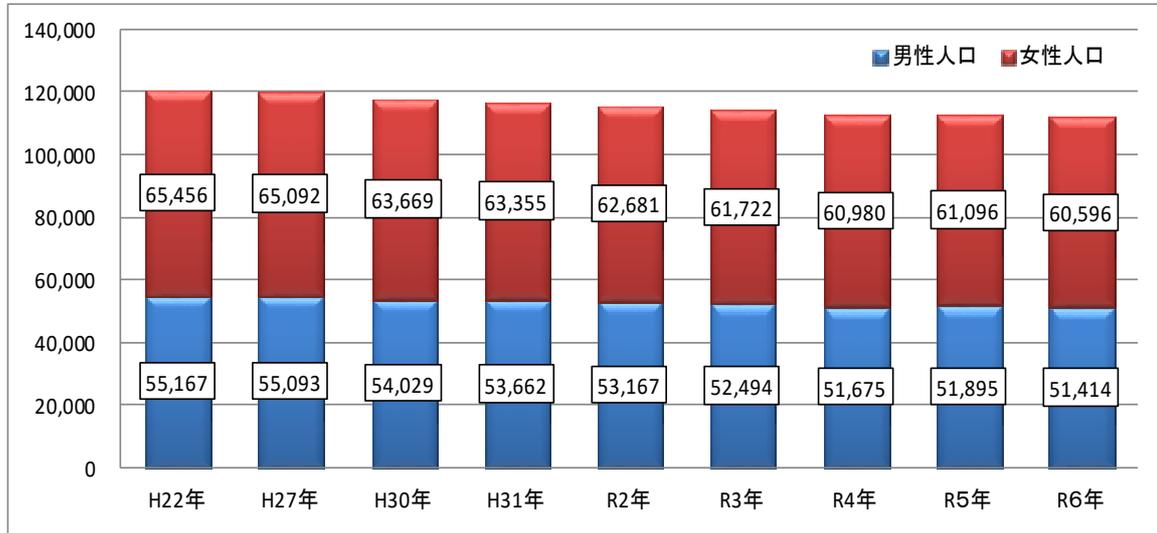
(6) 人口の推移

※平成24年7月から、外国人も住民基本台帳法の適用対象となりました。(外国人登録は廃止)

住民基本台帳登録人口推移

各年3月31日現在 (単位:人)

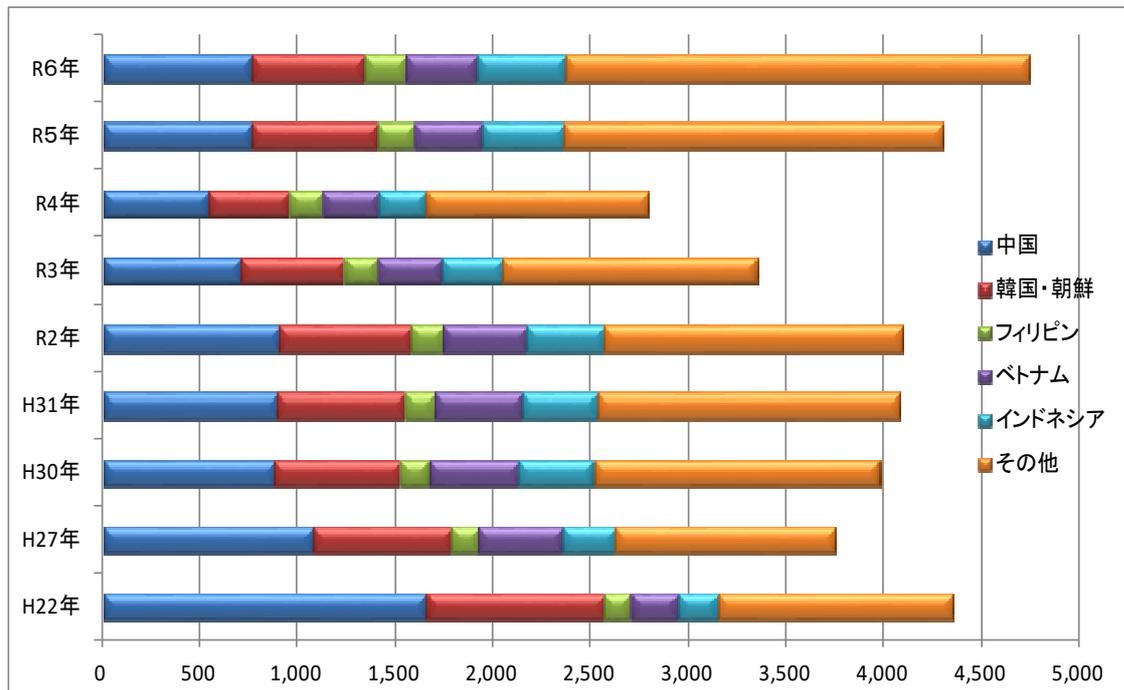
区分	H22年	H27年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
男性人口	55,167	55,093	54,029	53,662	53,167	52,494	51,675	51,895	51,414
女性人口	65,456	65,092	63,669	63,355	62,681	61,722	60,980	61,096	60,596
総人口	120,623	120,185	117,698	117,017	115,848	114,216	112,655	112,991	112,010



外国人住民人口推移

各年3月31日現在 (単位:人)

区分	H22年	H27年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
中国	1,653	1,074	878	891	900	703	543	766	765
韓国・朝鮮	908	708	645	654	678	537	412	638	572
フィリピン	145	141	147	155	167	171	171	195	220
ベトナム	238	428	461	443	424	322	287	338	359
インドネシア	207	273	386	391	396	322	243	422	454
その他	1,193	1,122	1,457	1,539	1,527	1,293	1,136	1,934	2,374
総数	4,344	3,746	3,974	4,073	4,092	3,348	2,792	4,293	4,744



(7) 産業別就業人口 (国勢調査)

(各年10月1日現在) 単位:人・%

産業大分類		平成22年		平成27年		令和2年	
		就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
総数		55,117	100.0	53,212	100.0	50,067	100.0
一次	農業, 林業	586	1.1	549	1.0	548	1.1
	うち農業	558	1.0	529	1.0	536	1.1
	漁業	64	0.1	60	0.1	61	0.1
二次	鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0.0	1	0.0	7	0.0
	建設業	3,746	6.8	3,383	6.4	3,378	6.7
	製造業	3,880	7.0	3,186	6.0	2,980	6.0
三次	電気・ガス・熱供給・水道業	227	0.4	243	0.5	222	0.4
	情報通信業	661	1.2	665	1.2	674	1.3
	運輸業, 郵便業	2,391	4.3	2,058	3.9	1,988	4.0
	卸売業, 小売業	9,748	17.7	8,532	16.0	7,898	15.8
	金融業, 保険業	1,224	2.2	1,080	2.0	932	1.9
	不動産業, 物品賃貸業	949	1.7	1,051	2.0	1,003	2.0
	学術研究, 専門・技術サービス業	1,145	2.1	1,179	2.2	1,220	2.4
	宿泊業, 飲食サービス業	6,290	11.4	5,682	10.7	5,316	10.6
	生活関連サービス業, 娯楽業	2,868	5.2	2,480	4.7	2,253	4.5
	教育, 学習支援業	2,740	5.0	2,575	4.8	2,687	5.4
	医療, 福祉	9,222	16.7	10,134	19.0	10,632	21.2
	複合サービス事業	275	0.5	317	0.6	286	0.6
	サービス業 (他に分類されないもの)	3,692	6.7	3,409	6.4	3,522	7.0
	公務 (他に分類されるものを除く)	2,655	4.8	2,603	4.9	2,633	5.3
	分類不能の産業		2,753	5.0	4,025	7.6	1,827
(再掲) 第一次産業		650	1.2	609	1.2	609	1.3
(再掲) 第二次産業		7,627	14.6	6,570	13.4	6,365	13.2
(再掲) 第三次産業		44,087	84.2	42,008	85.4	41,266	85.5

「国勢調査調査結果」(総務省統計局)

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しません。

※産業別の構成比は、分母となる総数から不詳の数を除いて算出したものです。

(8) 地目別土地 (概要調書)

(令和5年1月1日現在) 単位:km²・%

区分	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	原野	雑種	その他	合計
地積	5.625	12.935	0.014	0.025	15.412	14.919	5.998	70.412	125.34	
構成比	4.49	10.32	0.01	0.02	12.30	11.90	4.79	56.18	100	

(9) 都市計画区域・市街化区域等

(令和6年3月末現在) 単位:ha・人

都市計画区域			市街化区域および市街化調整区域		
指定年月日	面積	人口	決定年月日	市街化区域	市街化調整区域
R3.3.26	8,587	111,715人	R3.3.26	2,818	5,769